

Bring the kitchen waste!

香川高等専門学校 専攻科2年

○櫻井洋都・敷地泰成・合田満奈美・宮谷真也



Where(選定地域)

全国



What(捉えた課題)

生ゴミは80～90%が水分である。
これらを焼却処分しようと焼却炉に入れると炉内温度が下がり、ごみを焼却するために多くの燃料（コークス、灯油等）が必要で環境に負荷をかけることになる。

Why(何故それが必要なのか)

生ゴミと他の可燃ゴミの回収は分別されておらず、各々が適切に処理される事が必要。

Output(どのような作品)

家庭で出た生ゴミを回収ボックスに持ってきてもらい有効活用しようというアイデア

Outcome(生まれる効果)

- ①焼却処分時の燃料の減少、化石燃料の代替エネルギーとしてバイオガスを使用することで二酸化炭素排出量を削減できる。
- ②バイオガスは酸性雨や大気汚染の原因物質とされるNox(窒素酸化物)の発生量が少なくSOx(硫黄酸化物)は発生しない
- ③特に夏の間は生ゴミをゴミの回収日まで保管していると悪臭に悩ませられる。
- ④捨てたいと思うタイミングで生ゴミを捨てることができる